

# 安全データシート(SDS)

作成日 2010年12月13日

改定日 2021年11月12日

## 1. 製品及び会社情報

製品名: ROYAL 水性レザー&タイヤワックス  
会社名: 株式会社プリーマタイヤサプライズ  
住所: 東京都新宿区新宿1-25-14 第2関根ビル2階  
電話番号: 03-3358-6908  
FAX番号: 03-3358-6954  
メールアドレス: [info@premajapan.co.jp](mailto:info@premajapan.co.jp)  
製品の用途: 自動車タイヤ・ウレタンバンパーの艶出し剤  
整理番号: 95001950

## 2. 危険有害性の要約

国・地域情報:

GHS分類:

物理化学的危険性: ・分類できないまたは区分に該当しない  
健康に対する有害性: ・分類できないまたは区分に該当しない  
環境に対する有害性: ・分類できないまたは区分に該当しない

GHSラベル要素:

絵表示: ・なし

注意喚起語: ・なし

危険有害性情報: ・なし

注意書き:

〔安全対策〕

- ・屋外または換気の良い場所で使用すること。
- ・この製品を使用する時には、適切な個人用保護具 (ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)及び作業衣を着用すること。
- ・取扱い後は、うがいをして、手、顔などをよく洗うこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品は水生生物に対して毒性があるので、環境への放出を避けること。

〔応急措置〕

- ・吸入をして気分が悪くなった時は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は医師の診断を受けること。
- ・飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。或いはコップ1~2杯の水を与え、無理に吐かせないこと。
- ・皮膚に付いた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・直ちに医師に連絡すること。

## 〔保管〕

- ・施錠して保管すること。
- ・製品の品質保護のため、0℃以下または40℃以上になる場所には保管しないこと。
- ・容器は密閉し、換気の良い冷暗所で保管すること。

## 〔廃棄〕

- ・内容物及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分: 混合物

成分名	含有量wt%	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR法No.	毒劇物法
シリコンオイル	15.0以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
陰イオン系界面活性剤	2.0以下	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
石油系炭化水素	0.5以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
増粘剤	0.5以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
防腐剤	0.5以下	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
水	85.0以下	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

化審法 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報告示整理番号

安衛法 労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質

PRTR法 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善、促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の政令番号

毒劇物法 毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物指定物質

## 4. 応急措置

- 吸入した場合:
- ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  - ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
  - ・呼吸の弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行うこと。
  - ・気分が戻らない時は医師の診察/手当てを受けること。
  - ・上記、症状がある場合は直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合:
- ・直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、製品に触れた部分を多量の水または石鹸で15分以上洗浄すること。
  - ・皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診察/手当てを受けること。
  - ・汚染された衣服は着替え、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合:
- ・直ちに清浄で適温の緩やかな流水で15分以上洗眼すること。
  - ・洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は、固着していないかぎり直ちにはずし、洗浄を続けること。
  - ・洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。
  - ・医師の指示なしでは油類又は軟膏を用いてはならない。
  - ・すぐには痛みがなく視力に影響がなくても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察/手当てを受けること。



- ・皮膚、眼へのばく露防止のため、長袖の作業衣を着用し、適切な保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を装着すること。
- ・製品のミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・製品は漏れ、あふれ、飛散しないよう注意して取扱うこと。
- ・シミになるので、衣服には付着しないように注意すること。
- ・取扱い後にうがいをし、手、顔などをよく洗うこと。
- ・換気の良い場所で使用し容器は使用毎に密栓すること。
- ・目詰まりの原因になるため、他製品と混合しないこと。
- ・異物が混入しないように、キャップなどを正しくセットすること。

#### 保管

##### 保管条件:

- ・使用の都度、容器を密閉すること。
- ・容器は、施錠した換気の良い冷暗所に、一定の場所を定めて保管すること。
- ・製品の品質保護のため、0℃以下または35℃以上になる場所や雨水、直射日光のあたる場所、湿気の多い場所には保管しないこと。
- ・容器を横に倒して保管しないこと。
- ・容器は、液が漏出しないように密栓すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

#### 許容濃度:

許容濃度	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (日本産業衛生学会、2008年度版)	ACGIH(2007) TWA
製剤として	記載なし	データなし	データなし
石油系炭化水素	データなし	3mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミスト)	5mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミスト)

#### 設備対策:

- ・換気設備又は局所排気設備を用いること。

#### 保護具

##### 呼吸器の保護具:

- ・防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用すること。

##### 手の保護具:

- ・耐溶剤性手袋、ゴム手袋等を着用すること。

##### 眼の保護具:

- ・ゴーグル型もしくは側板付き普通眼鏡型を着用すること。

##### 皮膚、身体の保護具:

- ・保護衣、保護前掛け等を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

#### 外観:

- ・白色液体

#### 臭い:

- ・特異臭

#### pH:

- ・9.0(20℃)

#### 融点・凝固点:

- ・データなし

#### 沸点・初留点:

- ・データなし

#### 引火点:

- ・なし

#### 自然発火温度:

- ・データなし

#### 爆発範囲:

- ・データなし

#### 蒸気圧:

- ・データなし

#### 蒸気密度:

- ・データなし

比重(相対密度):	・1.006 (20°C)
溶解度:	・水に易溶
オクタノール/水分配係数:	・データなし
分解温度:	・データなし
粘度:	・400mPa・s(20°C)

## 10.安定性及び反応性

安定性:	・通常の使用下では安定である。
危険有害可能性:	・知見なし
避けるべき条件:	・知見なし
混触危険物質:	・知見なし
危険有害な分解生成物:	・燃焼により一酸化炭素を発生する可能性がある。
その他	・知見なし

## 11.有害性情報

急性毒性(経口):	・区分に該当しない	>2,000mg/kg(ATEmix)
急性毒性(経皮):	・区分に該当しない	>2,000mg/kg(ATEmix)
急性毒性(吸入/蒸気):	・分類できない	>20mg/L(ATEmix)
皮膚腐食性/刺激性:	・分類できない	データ不足
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	・分類できない	データ不足
呼吸器感作性:	・分類できない	データ不足
皮膚感作性:	・分類できない	データ不足
変異原性(生殖細胞変異原性):	・分類できない	データ不足
発がん性:	・分類できない	データ不足
生殖毒性:	・分類できない	データ不足
特定標的臓器/全身毒性-単回ばく露:	・分類できない	データ不足
特定標的臓器/全身毒性-反復ばく露:	・分類できない	データ不足
誤えん有害性:	・区分に該当しない	区分1成分<10%

## 12.環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):	・分類できない	データ不足
水生環境有害性 長期(慢性):	・分類できない	データ不足
オゾン層への有害性	・分類できない	データ不足

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物:	・都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者や、収集運搬業者と委託契約して処理すること。
汚染容器および包装:	・取扱いについては、「7.取扱い及び保管上の注意」を参照のこと。 ・内容物を完全に除去した後、法規に従い産業廃棄物処理業者等に処分を委託すること。

## 14.輸送上の注意

国内規制	
陸上規制情報:	・労働安全衛生法、消防法等に定められている輸送方法に従うこと。

海上規制情報:	・船舶安全法に定められている輸送方法に従うこと。
航空規制情報:	・航空法に定められている輸送方法に従うこと。
特別の安全対策:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。</li> <li>・直射日光を避けること。</li> <li>・横積み厳禁</li> <li>・水濡れ厳禁</li> <li>・夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。</li> <li>・輸送容器は衝撃を与えないように、丁寧に取扱うこと。</li> <li>・転倒させたり、衝突させたりしないこと。</li> </ul>

#### 国際規制

国連番号:	・非該当
国連分類:	・非該当
容器等級:	・非該当

#### 15.適用法令

消防法:	・非該当
労働安全衛生法:	・非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):	・非該当
毒物及び劇物取締法:	・非該当
化審法:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先評価化学物質 No.081:テトラヒドロ-1,4-オキサジン(モルホリン)</li> </ul>
船舶安全法:	・非該当
海洋汚染防止法:	・非該当
航空法:	・非該当

#### 16.その他の情報

##### 参考文献

1. 国連GHS文書 改定6版(2015)
2. JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
3. JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
4. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)公開データ
5. 日本オートケミカル工業会「製品安全データシート作成指針改訂版」
6. 化学工業日報社「15107の化学商品」(2007)
7. 講談社「溶剤ハンドブック」
8. 弊社入手の製品安全データシート及び入手資料

##### \*注意

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。取扱う事業者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。  
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。